# 令和7年(2025年)度行政評価シート【個表】 令和 7年 6月 23日

評価対	象事業		評価者	道水路管理	課長 伊藤 元敦
都整-10	マル済車等	·····································	■ 自治事務	主管課	道水路管理課
	下小坦爭未	《止未云司 /	□ 法定受託事務	関連課	下水道経営課・下水道河川課・作業センター・浄化センター
総合計画上の位置付け	分野	5-(6) 下水道·河川	施策の方針	5-(6)-①下7	水道の整備・管理

#### 1 事業の目的

	ナベット!!
対象	市民等
意図	公共下水道の使用料、受益者負担金、受益者分担金及び占用料を適正に徴収するため。
効果	徴収率の向上を図る。

## 2 令和6年(2024年)度に実施した事業の概要

下水道関係許認可、占用料の賦課及び徴収を行った。

下水道事業における土地使用料に係る庶務を行った。

下水道用地の管理にかかる保険料の支払い及び下水道施設の管理瑕疵に起因する賠償金の支出を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝	テ木と情况するデカ			令和6年度		16年度	令和7年度	
枝番号	事務事業	実施し	た主な事業 は経費等)	指標(単位)	指標(実績	10年及 [値/目標値) [/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	達成度
01	汚水管渠費	下水道事 土地使用	業における  料の支出	-	233	/ –	234	-
02	ポンプ場費	ポンプ場 水費の支	にかかる光熱	_	- 106	/ - 136	- 179	-
03	総係費	保険料及 支出	び賠償金の	_	- 368	/ - 2,463	2,506	-
04						/		
05						/		
06						/		
07						/		
80						/		
09						/		
10						/		
				国県支出金		/		
			財源	地方債		/		
			内訳	その他特定財源		/		
				一般財源	707	/ 2,832	,	
				の合計 (千円)	707	/ 2,832		
			人作	‡費(千円)		7,865	8,537	

#### 4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号		事務事業 指標分析の推移、 目標未達の理由		b i		位施策にどう寄与したか、 成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	汚水管渠		下水道事業会計全体と標を設定し、最小事業計での指標は設定しないた。	平価とし こととし	する	下水道を良好に維持管理 ための土地使用料であり、 である。	_
02	ポンプ場	費	下水道事業会計全体と標を設定し、最小事業計での指標は設定しないにた。	平価とし	熱水	下水道施設で使用された光 費である。後日借受先へ相 を請求しており、妥当であ	_
03	総係費		下水道事業会計全体と標を設定し、最小事業記 ての指標は設定しないる た。	平価とし	する	道管理上発生した事故に関 保険料及び賠償金であり、 である。	_
04	0						
05	0						
06	0						
07	0						
08	0						
09	0						
10	0						
(2)	視点別記	评価					
		事業費の削減	<b>は余地はないか</b>			1 事業費の削減余地はない	`
ź	効率性	事業の外部化	(民営化・業務委託等)	<b>まできない</b>	か	3 外部化ができる事業はない	V)
		関連・類似する	る事業の統合はできない	か		3 統合できる事業はない	
7	妥当性		に対する市民ニーズはる			3 市民ニーズは把握してい	
			一ビスで代替できる事業			3 民間によるサービスで代替	
	<b>与</b> 効性		策に向けた貢献度はど			3 上位施策の貢献度を計る	
1	公平性	受益者負担は	な正・公平か	○.負担導		〇-2 適正な受益者負担を	
	協働	市民等と協働し	して事業を展開しているか	△.協働未	実施	△-2 市民等と協働して実施 協働実施済の場合のパートナー	世ずる事業はない
(3)	総合評価	<b>西</b> ※最	<b>長小事業評価を踏まえ</b>	て、今年	度以	降の取組方針等を記載す	-る
[4	今後の方針	_		改善•変	_	■ 現状維持	□ 縮小 □ 休止・廃止
	占用者の	か転居や名義	変更があった際の状況	況把握が	難し	い。債権管理担当と連携を	を図っていく。

## 【参考】

指標(単位)						単位	基
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標(単位)						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						
<b>)他市比較・ベンチマーク</b>	(県内外自治体	など他自治体	や民間団体	との比較値)			
比較事項							
団体名 鎌倉市							
他市実績							
他中天順							
1 11/2 12 12 12							
当該事業実施に伴う 也市比較に関する考え方							